

10043 自然環境論 II b Introduction to Natural Environment II		1年次～ 後期 2単位	
担当者	飯田 利明	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	
サブタイトル	生き物たちの生活からより具体的に自然を探る		
授業内容 ・ ねらい	<p>前期の自然環境論Ibでは、自然環境の中での動物などの生活の基本について取り扱った。後期の自然環境論IIbでは、その中でも、動物の仲間同士のつきあい方と、雌と雄の関係などについて、具体例にもとづいてより深く掘り下げたい。</p> <p>また自然環境の中の生き物の生活は、現実の場所＝地域の自然環境で営まれていることを忘れることはできない。つまり一つの生き物の生活を考える時には、その回りの生き物たちをも一緒に考える必要があり、それがわたしたちの目の前に見える自然の風景でもある。</p> <p>授業では、一緒に暮らす生き物たちの生活をも合わせて解説し、わたしたちヒトという生き物の行動を理解し、自然環境とわたしたちの今の生活との関係を見直す一助としたい。</p> <p>前期の自然環境論Ibとは、基本と発展という形で、内容的には連続していると考えてほしい。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 仲間同士での争い 3. 強い者勝ちと分け合い 4. 実力と誇示行動の両立 5. 争いの簡単なシュミレーション 6. 誇示行動の信頼性は 7. 二つの性の対立と協調 8. 二つの性のつきあい方の多様性 9. 性差と婚姻制度の関係 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 利己的遺伝子と利他的行動 11. 遺伝子共有確率とは 12. ヘルパー制と社会性昆虫 <p>他にも、現在の人類と自然環境の深刻な関係について、茨城という地域に立って、できるだけ多くの時間を割いて考えてみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 地球温暖化の現実 14. 有限の水資源と水辺の再生 15. 都市文明とそれが依存している森林の破壊的利用 	
教科書 参考書	授業内容が広く、これ一冊という教科書はないが、授業内容を深めるために、必要な参考書、ホームページ等を紹介したい。		
評価方法	期末のレポートによる。		
事前準備学習 履修条件等	特に無し		